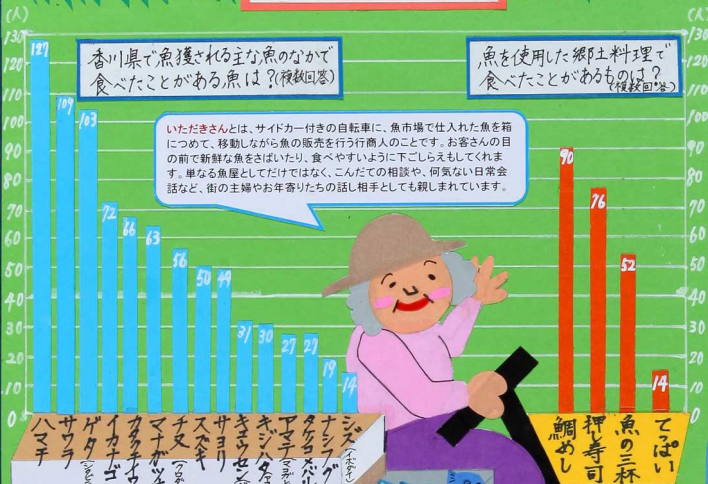


守ろう残そう香川の海

私が通う新番町小学校は
校区内に高松市中央卸売市場があることから、
いつでも新鮮で安心なお魚を手に入ることができ、
家庭や学校でもおいしい魚料理をいただくことができます。
私は5年生の時に社会科の「環境」の授業で、
海的环境悪化について学び、海を守る方法の
ひとつとして、私たちが若者が海に親しみと
興味を持つことが大切だと教わりました。
そこで私たちが一番身近な「食」
を通して、海について考えてみたいと
思います。

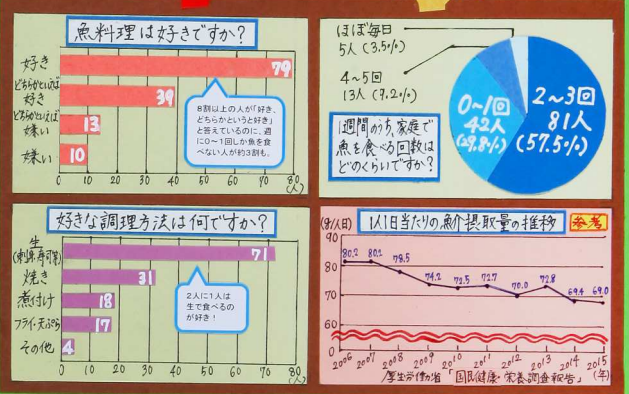
香川の魚食文化



いただきさんは、サイドカー付きの自転車に、魚市場で仕入れた魚を箱につめて、移動しながら魚の販売を行う行商の方です。お客さんの目の前で新鮮な魚をさばり、食べやすいように下ごしらえもしてくれます。単なる魚屋としてだけでなく、こんだての相談や、何気ない日常会話など、街の主婦やお年寄りたちの話し相手としても親しまれています。



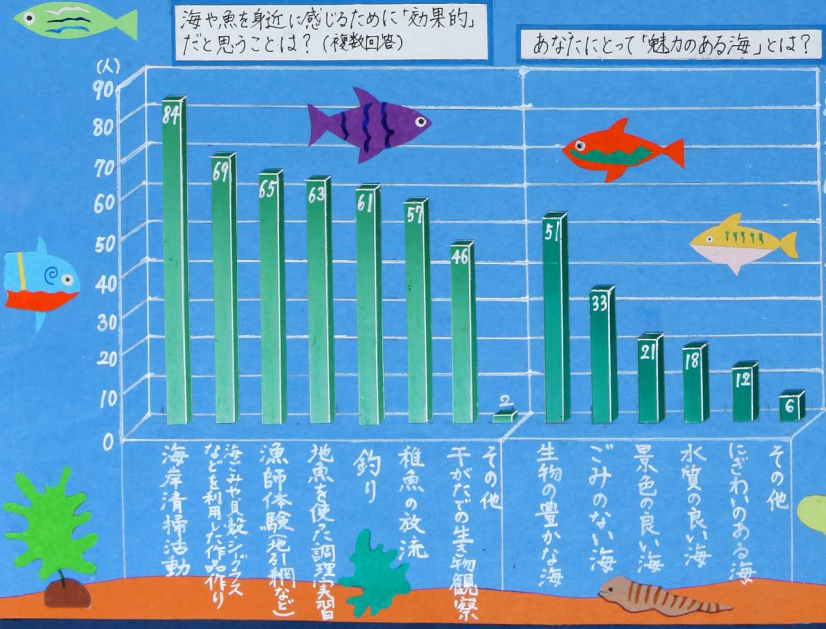
「魚離れ」って本当？



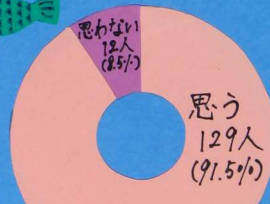
つながる 守る 活かす

平成30年7月11日
高松市立新番町小学校
6年生 141人調べ

海を守るために



美しい瀬戸内海を未来に残していきたいと思いませんか？



まとめ 海を守ることは、未来を背負っていく私たちがこの先考え続けなければならない課題だと思えます。私たちが海の現状を理解し、小さな意識の変化で、美しい海を未来に残していくことができるのではないのでしょうか。みなさん、私たちの自慢の美しい瀬戸内海に、遊びに来て下さい。